

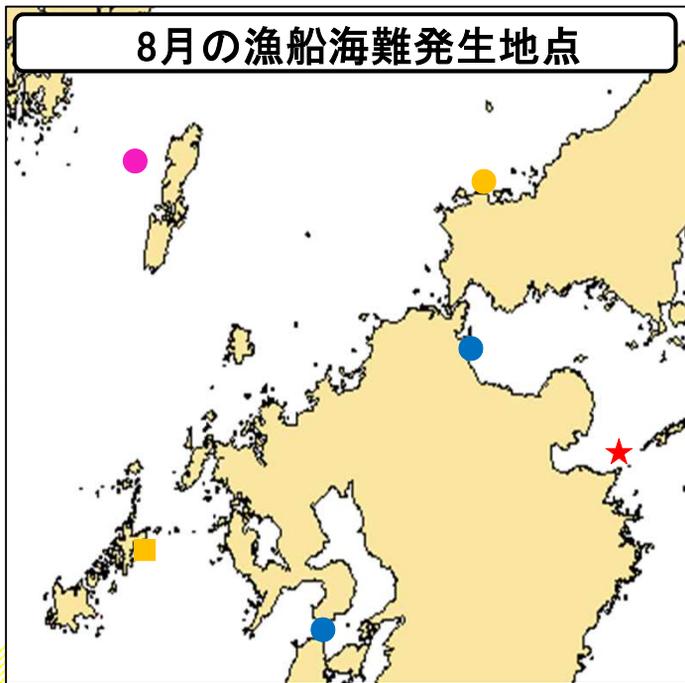
令和4年8月発生  
七管内漁船海難 計6隻

令和4年8月累計 53隻 (前年69隻)  
漁船海難発生隻数は前年に比べ **16隻減少**

漁船海難隻数 (速報値)		
衝突	★	1
乗揚	●	1
浸水	●	2
運航不能 (推進機障害)	■	1
火災	●	1
合計 6隻 (昨年 6隻) 死亡、行方不明者: 0名		

	県別内訳	
	8月	令和4年累計
山口県	1	7(8)
福岡県	1	15(11)
佐賀県	0	7(3)
長崎県	3	19(36)
大分県	1	5(11)
合計	6隻	53隻 (69隻) ( )は昨年同月

県別内訳表は、各県に所在する海上保安部署の担当海域にて発生した海難の合計数を示しています。数値は速報値です。



累計死亡・行方不明者数: 6名 (令和4年8月末日現在)



ネコの「目」借いてでも見張り徹底

～命を守る「秋季安全推進活動」を実施します～



**秋季安全推進活動期間**  
【期間: 令和4年10月1日～10月31日】

漁船の衝突・乗揚海難の  
約8割は見張り不十分です。

**海難 ZERO にゃん!**

- 常時適切な見張りの徹底
- 気象・海象情報の入手活用
- 自己救命策確保の推進

第七管区海上保安本部

第七管区管内では、令和4年は8月31日までに53隻の漁船海難が発生しており、そのうち、**衝突海難が20隻と3分の1を占め**、20隻の衝突事故の原因をみると、**16隻(80%)が見張り不十分**によるものでした。

自動操舵使用時の事故多発！  
見張りを徹底してください！



帰港中、後部甲板でロープ等を片付け中に周囲の見張りを怠り、衝突  
操業後、漁獲物の選別中に周囲の見張りを怠り、衝突

**常時適切な見張りの徹底**  
操業中は見張りが疎かになりやすいです。航行・操業中問わず、どんなときでも事故防止のため、常時適切な見張りをお願いします。

**気象・海象情報の入手活用**  
気象情報等をしっかりと把握して、悪天候時が予想される場合は出港・操業中止の判断をお願いします。

**自己救命策確保の推進**



救命胴衣の着用



携帯電話などの適切な連絡手段の確保



海の「事件・事故」は  
118番